

# 米山奨学委員会 学校／地区委員会 意見交換会プログラム 報告

米山奨学委員会 委員 **岡部 倫正**  
(大阪城南RC)

日 時：2014年7月10日(木) 14:00～16:00

会 場：ガバナー事務所

参会者：近藤菜穂子委員長、福田治夫副委員長、古城紀雄副委員長、田中隆弥副委員長、西谷雅之委員、島井宏子委員、北山治信委員、堀田修平委員、堀 隆委員、吉馴茂子委員、鹿浦英毅委員、石井博章委員、岡部倫正委員

参加校：関西医科大学、関西外国語大学、関西大学、近畿大学、摂南大学、相愛大学、大阪教育大学、大阪経済大学、大阪経済法科大学、大阪工業大学、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪市立大学、大阪商業大学、大阪大学、大阪電気通信大学、追手門学院大学、東大阪大学、大阪日本語教育センター、コミュニケーションアート、大阪ハイテクノロジー専門学校

2014年7月10日(木) 14:00より地区米山委員会と大学・専門学校との意見交換会がガバナー事務所会議室にて開催されました。

当日は台風の予想の中、多くの学校関係者にご参集頂き田中隆弥副委員長の司会のもと議事が進められ、『人づくりの輪』のビデオを放映し、米山奨学生のあり方を紹介。ビデオ放映終了後、つづいて近藤菜穂子委員長が挨拶され、ロータリーの活動内容や米山奨学委員会からのお願いをしました。

ロータリー米山奨学会は日本のロータリアンが独自に設立した奨学事業である事、外国人を対象とした制度である事、また2660地区は全国34地区ある地区のひとつでガバナーを中心として奉仕活動を推進し、米山奨学委員会と相互に協力しあっている事、特徴として世話クラブとカウンセラー制度があり、民間の奨学団体として最大の支援数である事を説明しました。

また、米山奨学生としての好ましい姿、推薦して頂きたい人物像を下記の通り示されました。

- ① 挨拶がきちっとできる。
  - ② 目的意識がある。
  - ③ 忍耐力がある。
  - ④ 責任力がある。
  - ⑤ 自己啓発ができる。
- ①～⑤をベースにさらに『社会の人間関係の形成能力がある人』、『きちんと報告・連絡・相談ができる

人』、『協調性、チームワークをもてる人』、『問題解決能力に秀でた人』、以上の観点から選考して頂きたい旨を伝え、さらに『異文化に関心がある人』、『ロータリアンと交流、奉仕活動に積極的であること』、『奨学期間終了後、日本と母国との架け橋になって頂く意欲がある人』、『学友会に参加して後輩のために自分の経験を役立てる意欲がある人』、『月1回の例会に参加できる人』が望ましい事を説明。

またロータリー記念米山奨学会として求めている学生像は経済的に困窮している学生を優先して採用することは決してしてない、また成績が優秀なだけで採用することは考えていない。あくまでも人物優先であることの旨を説明致しました。

また、他奨学金との併願は避けていただきたい旨もお伝えしました。

つづいて、各大学、専門学校のご担当者の皆様に事前にお問い合わせしていたアンケートの内容についてロータリーへの推薦までの流れをご説明していただき、各大学、専門学校が発表した内容に基づき田中隆弥副委員長の下、質疑応答がされました。

最後に福田治夫副委員長が挨拶され、我々ロータリークラブ、ロータリアンとして最大限努力して数多くの学生を支援して行く旨を説明し、大学、専門学校のご担当者の方にも選考基準の考慮と共に、次年度の面接の時に選考で苦慮するような立派な学生を送り込んでいただくようお願いし、閉会いたしました。